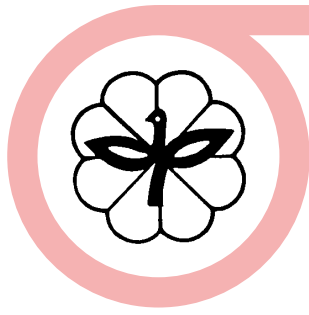




いきいき

2022

8月

第37号

伊丹市民生委員児童委員連合会



イラスト 池内美奈子 氏

民生委員児童委員信条

- 一、わたくしたちは隣人愛をもって社会福祉の増進に努めます
- 一、わたくしたちは常に地域社会の実情を把握することに努めます
- 一、わたくしたちは誠意をもってあらゆる生活上の相談に応じ自立の援助に努めます
- 一、わたくしたちはすべての人々と協力し明朗で健全な地域社会づくりに努めます
- 一、わたくしたちは常に公正を旨とし人格と識見の向上に努めます

◆目次◆

主任児童委員からのお手紙	P 2
こんにちは！民生委員さんっ！！	P 3～4
活動報告	P 5
お知らせ	P 6

『主任児童委員からのお手紙』

桜台・池尻小校区担当の主任児童委員大池津由美です。2007年（平成19年）に就任し5期15年になります。伊丹市の主任児童委員定数は9名でほとんどの方が2つの小学校区を担当しています。私は住んでいる桜台小校区での活動が主で、池尻小校区については何か問題等があった場合に対応しているというのが現状です。15年前に『主任児童委員になりませんか？』と言われたときは“主任児童委員って何？”といった感じで戸惑いましたが、地域でお世話になっていた方から推薦をいただいたこともありお受けした次第でした。

主任児童委員制度は平成6年、子どもの非行や虐待、いじめ、不登校等の問題が深刻化する中で、民生委員児童委員の相談・支援等の活動をより充実、活発化させるために生まれました。子どもに関することに特化し、民生委員児童委員の活動を支援、協力し関係機関と連絡調整等をするのが主な役割です。

就任当時は当然ながら主任児童委員の認知度も低く、何をしているのかよくわからないというのが周囲の実情でしたし、私たち主任児童委員もまた同じ思いのようでした。そこで市民の皆さんにも広く「主任児童委員」のことを知っていただくために「ことば蔵で主任児童委員と遊ぼう」というイベントを開催したり主任児童委員についてのリーフレットを作成するなどPRに力を入れました。

主任児童委員の役割は、児童福祉関係機関や教育機関及び各地域の児童健全育成に関する団体などと連絡連携をとり、地域の皆さんとのパイプ役になることです。具体的には小・中学校生徒指導者会議や愛護補導委員会の出席、3カ月に1回、家庭児童相談員との情報交換、「こんにちは赤ちゃん事業」の再訪問などがあり、地域のさまざまな活動にも積極的に参加しています。



私は5年前から、桜台小校区内で「子ども食堂」を毎月1回開催しています。また小学校のコミュニティスクールの委員、子ども園の評議員、中学校のトライやる推進員等をしており、幼・小・中学校との連携に力を入れています。15年前の就任時に当時の校長先生から「これからは今まで以上にいろんな相談に乗ってもらえるね」と言われ、少しでもお手伝いが出来ればとの思いで今日までやってまいりました。近所でちょっと気になる家庭があるけど学校に連絡するほどではないかな…とか、どこへ連絡や相談をすればいいのかわからない、といった方も多いと思います。そんな声にお応えできますように、私の顔と存在を知ってもらい「子どもの事で気になることは大池さんに話したらいいよ！」と言われるように・・・そんな思いで日々活動しています。

私たち主任児童委員は、地域のパイプ役になれるよう活動を続けていますので気軽に声をおかけください。

こんにちは！民生委員さんっ！！

荻野小校区 前田 美奈子

民生委員児童委員として18年、それ以前に担っていた民生児童協力委員の期間も含めると27年、私にとってこの27年はあっという間でした。その間さまざまな活動に取り組んできましたが、特に注力してきたのが地域ふれ愛福祉サロン（以下、サロン）活動であったように感じています。

今でも鮮明に覚えているのが新任研修です。サロンのスライドを見た瞬間、地域での高齢者の見守りにこんな方法もあるのかと驚き、考えさせられました。当時、サロン活動に取り組んでみようと思っても荻野小校区にはサロンがなく、自分たちでサロンを立ち上げる必要がありました。ゼロから始めるというのは簡単なことではなかったのですが、自治会との連携をはじめ、地域のたくさんの方々のご協力を得ることができたからこそ、立ち上げることができたと思っています。こうして始めたサロンですが、当初はお菓子とお茶を準備しておもてなしをするも、時間がもたない状況で、どうすれば楽しいサロンになるか、ボランティアの皆で話し合いを重ねました。そして皆の様々な意見を取り入れながら実施したのが、手作りの食事を提供する昼食会です。運営資金に余裕がない頃には、豆腐1丁を具材に40人分の味噌汁を作り、汁の中で豆粒のようになった豆腐を見て皆で大笑いしたのも今となっては懐かしい思い出です。そんな失敗や工夫を重ねながら取り組んできたからこそ、皆が楽しくゆったりと過ごせる場になってきたと思います。また、気になる参加者の方々には注意深く心配りすることなど皆で意識し合い、ボランティアの当番制や参加者の担当制なども取り入れていきました。

このように試行錯誤しながら皆で作り上げてきたサロン。参加者の皆さんから「美味しかったよ」「楽しかったよ」と言われるたびに、ボランティア同士で喜びを分かち合えたのも、皆で力を合わせてこのサロンを作り上げてきたからだと思います。その後、自治協議会福祉部の日帰り旅行なども実施していくことになりましたが、それもこうしたサロン活動を続けてきたからではないでしょうか。

今期が私にとって民生委員児童委員最後の一期となります。今期を迎えるにあたり、今の荻野小校区に何が必要なのだろう、自分に何ができるのだろう、と考えた時に思い立ったのが、大人だけでなく子どもたちのためのサロンです。「ちびっこサロン」と名付けた、この新たな集いの場の立ち上げに皆で取り組み、開催直前までこぎつけたのですが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、思うように進められないままになったこと、それが大変心残りです。

あと数ヶ月で任期を終えますが、民生委員児童委員としてサロンをはじめさまざまな地域活動に関わる機会を得られたことで、たくさんの方々と出会い、何物にも代えがたい多くのつながりをつくることができました。

最後になりましたが、これからも地域のために一生懸命頑張っていられる民生委員児童委員の方々のご活躍をしっかりと応援させていただきます。



▶ 自己紹介

平成4年12月に拝命、今年で30年となります。振り返れば家族の理解と協力、校区の多くの方々との出会い、そして健康で過ごせたことが永年続けられた理由かと思って感謝しています。

▶ 民生委員になったきっかけ

私の母が民生委員をしていたことを前任の民生委員の方がご存知で、それならばぜひひとと推薦してくださいました。私にそんな大役が務まるかなあ？という不安もありました。

▶ 楽しいと感じるのはどんな時でしょうか？

地域の方々との“出会い”“ふれあい”を通じて笑顔でお話しをすることは嬉しく、また楽しい時間でもあり、そうしたことが自信となっていました。

▶ 印象的な出来事がありますか？

40代の一人暮らしの女性。無料で貰える商品の購入を執拗に薦める電話が何回もかかってきて心配だと相談を受けました。話を聞くと決して無料ではなく、毎月一定金額を2年間も支払うとの内容でしたので、すぐに断るように助言をしました。お蔭でその方は悪徳商法詐欺に合わずに済んで、胸をなでおろしました。その後も声かけをしています。私はその女性の母親のような存在かもしれません……。

▶ 活動の内容を教えてください。

私の地域は一人暮らしの方や高齢者世帯が多いので、ゴミ出しの時に見かけたら声をかけたり、近隣の情報に詳しい方からそおつと様子を聞く事もあります。

協力委員の方にもそうしたことをお願いするなど日常生活の中で協力委員の方々とタッグを組んで目くばり、気くばりをしています。また協力委員お二人からもさまざまな助言・アドバイスを頂いて、私の仕事がスムーズにいくことも少なくありませんでした。

今日まで私がこの仕事を永く続けられたのも協力委員の方のお蔭でもあります。

▶ 民生委員の今、昔

担当区域内の工場跡地に大きなマンションが建ち、古い集合住宅が新しい住宅へと変貌してきました。受持ち世帯は当初の380世帯から500世帯にもなりました。

最近は「こんにちは赤ちゃん」の訪問が増えて若いお母さん方とのつながりも生まれ、子育てなどの相談をされることもあります。拝命した当初は一人暮らしや高齢者世帯は少なく、年末に一人暮らしの方への“歳末助け合い物品”をお届けするなど、皆さんにとっても喜んで頂いた活動が印象深く残っております。

▶ 新任の民生委員の皆さんに伝えたいこと

地域の方と信頼関係を少しずつ作っていき、自分のペースで活動をしてください。

何か問題がおきたり悩んだら、一人で抱え込まずに先輩民生委員の方や関係機関に相談するのも解決の近道。それがまた自分自身の勉強にもなるのではと思います。

▶ エピソードがあれば教えてください。

伊丹市は安心・安全の町をスローガンに掲げています。地域の方も住み慣れた所ですと暮らしたい、困った時は民生委員さんをお願いをする……頼りにされる部分もあります。警察の方が戸別訪問をした際に、もしもの時の緊急連絡先は？と尋ねられた一人暮らしの方から「民生委員さんに知らせているから！！」と言われて結局教えてもらえなかった…という話をお聞きしました。こんなエピソードからもこれまでの私の活動で皆さん方との信頼関係が築けていたのだと安心しました。

最後に、地域の皆さん方の暮らしのお手伝いをさせて頂き、信頼して頂ける民生委員活動を続けたいと思っています。





2021年度 研修会報告「手話にふれてみよう」

第2地区第3ブロック（池尻・稲野・桜台）

伊丹市出前講座で講師の久保みどり氏・福田知子氏をお招きし、聴覚に障害のある人についてのお話を手話通訳の方を交えてお聞きしました。

伊丹市では2018年（平成30年）4月1日に手話言語条例が施行されました。手話言語条例とは、「手話」は独自の言語であり、それを広め、障害のある人もない人も共に尊重し、安心して生活できる社会の実現を目指すものです。

聴覚に障害のある人とは、生まれながらに耳が聞こえない人や遺伝によるもの、病気やケガで聴力が衰えてしまった人、加齢による難聴など様々です。

聴覚障害のある人とのコミュニケーションは、手話、筆談、口話（こうわ）、指文字等々があり、手話を利用する人は、子どもの時から難聴の人が殆どだとうかがいました。口話とは、口の動きを見て理解するもので、現在はマスクをしているので、話が伝わりにくいそうです。その点、筆談は紙とペンがあれば会話しやすく、最近は携帯電話（スマホ）などで会話が出来、便利なツールになっています。

伊丹市では市民の皆様にとって手話が身近になるよう、講座などが開かれています。また、手話通訳派遣事業により、意思疎通を円滑に出来るよう、手話が必要な場合は手話通訳者を派遣していただきます。

ひょっとしたら身近に聴覚障害の人がいらっしゃるかもしれません。少しでもその方たちの世界が広がり、安心して暮らせるように、まず知ることが大切だと感じました。

聴覚に障がいを持つ人達は、様々な場面で不便さを感じています。



講座のお問い合わせ

伊丹市障害福祉課 072-784-8032

アイ愛センター（伊丹市立障害者福祉センター） 072-772-0221

苦渋と工夫の、、、コロナ禍でのサロン活動。

サンシティサロン

サンシティサロンは、文字通りサンシティホールを活動場所として運営しているサロンです。しかしコロナ禍による様々な制約のために施設の利用ができなくなりました。何とか他に近辺で利用できる施設がないかと探し、現在は天神川第二団地集会所を利用させていただいております。手指や机、椅子等の消毒はもちろんのこと、検温や参加者同士の間隔も十分に取るなど出来る限りの感染予防対策を講じて何とか続けておりましたが、蔓延防止法発令中は大変残念ながら開催を諦めざるを得ない状況となりました。

幸いなことに、昨年12月には集まれて、毎年作り続けておりました干支の色紙を作成することができました。

皆様もそれぞれの地区において様々な工夫、対策を講じてサロン開催・運営をされておられることと思います。一日も早くコロナ禍が収束し、以前のように笑顔で思いっきりおしゃべりできる日が来ることを心から願っています。





令和3年度 民生委員児童委員の活動報告



	内 容 別 相 談 ・ 支 援 件 数 (年度中)															分野別相談・支援件数 (年度中)				
	在宅福祉	介護保険	健康・保健医療	子育て・母子保健	子供の地域生活	学校生活 子どもの教育	生活費	年金・保険	仕事	家族関係	住居	生活環境	日常的な支援	その他	計	高齢者に関する こと	障害者に関する こと	子どもに関する こと	その他	計
民生委員	534	117	220	186	61	32	65	9	5	47	39	115	1175	1437	4042	2912	81	301	748	4042
(再掲) 主任児童委員	0	0	2	10	16	14	0	0	0	4	1	1	4	0	52	2	2	45	3	52

	そ の 他 の 活 動 件 数 (年度中)							訪問回数		連絡調整回数		活動日数
	調査・実態把握	会議への参加協力	行事・事業・自主活動	地域福祉活動	民児協運営・研修	証明(調査・確認等)事務	要保護児童の発見の通告・仲介	訪問・連絡活動	その他	委員相互	その他の関係機関	
民生委員	7095	2337	6196	2153	439	65		16261	8504	9677	4904	20629
(再掲)主任児童委員	19	50	82	115	9	0		147	40	138	49	405

民生委員児童委員は、地域福祉の推進のために、日々、行っている活動を記録し、毎月、報告することになっています。これは、日々の活動を記録することによって、個々の活動を分析し、今後の活動の推進に資することを目的にしています。また、この表は昨年度、伊丹市の全民生委員児童委員から報告された活動記録をまとめたものです。こうした記録は、各市町の民生委員児童委員協議会ごとにまとめられ、県を經由し厚生労働省へ報告され、全国分を集計したものが「社会福祉行政業務報告」(厚生労働省大臣官房統計調査部発行)で発表されています。この結果は、民生委員児童委員活動に関係の深い各種福祉施策の企画、立案に反映させる等、広く活用される大変重要なものになっています。

新任 民生委員児童委員

(令和4年
4月委嘱)



笹原校区
佐伯 和子

赤い羽根共同募金にご協力を！

今年も、10月1日(土)から赤い羽根共同募金の運動が始まります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



あけはねちゃん
全国赤い羽根共同募金

表紙イラスト・挿絵の作者の紹介

みなさん、この広報誌「いきいき」の雰囲気は前号(令和4年1月20日発行)より、少し変わったと思いませんか？多くの方から、『表紙のイラストや挿絵が優しい雰囲気ですとても素敵。』との声をいただいています。そこで、このイラストをご寄稿いただいている方を少しご紹介させていただきます。

お名前：池内 美奈子さん

グラフィックデザイナーで、デザイン事務所や創作・絵画教室の代表。パッケージや表紙などのグラフィックデザイン全般に携わりつつ、焼き絵アート作家としても個展や出展など幅広く活動されています。また、子ども向けの絵画教室やイベントでの出張講座もされ、新しくできた「伊丹市立児童会館こらくる」でもイベントを実施されています。

編集後記

毎年1月と8月に発行している「広報いきいき」は各校区から17名の民生委員が広報部員として集まり、様々な知恵を出し合って発行しています。これからも皆様の役に立つような話題を提供していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

池尻小校区 柚 隆子

